

山間過疎地域と循環型社会を考える講演会

山間地域の役割 ～南砺の山間地域を守るために～

日時：平成25年 **10月30日(水)**

午後7時から(開場午後6時30分)

会場：南砺市役所城端庁舎
3階大ホール

入場無料

事前申込み不要

演題 「森は海の恋人 ～人の心に木を植える～」

講師 NPO 法人森は海の恋人 理事長 ^{はたけやま しげあつ} 畠山 重篤 氏



プロフィール

1943年中国上海生まれ。県立気仙沼水産高校を卒業後、家業の牡蠣養殖業を継ぐ。海の環境を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることの大切さに気付き、漁師仲間と共に「牡蠣の森を慕う会」を結成(2009年、NPO法人森は海の恋人を設立)。1989年より気仙沼湾に注ぐ大川上流部で、漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人運動」を行っている。この活動は、小・中・高校の教科書にも紹介されている。東日本大震災で牡蠣養殖場の施設等全て失うが、コンクリートの防潮堤に頼らず震災後の自然環境を活かした地域づくりのため、湿地保全の活動を展開している。

朝日森林文化賞(1994年)、緑化推進功労者内閣総理大臣表彰(2003年)、宮沢賢二イーハトーブ賞受賞(2004年)、国連森林フォーラム(UNFF)「フォレスト・ヒーローズ」受賞(2012年)等。

テレビ出演：NHKプロフェッショナル仕事の流儀 ほか

著書：森は海の恋人 ほか

南砺市全体で人口減少が進む中、特に山間地域では、大幅な人口減少や著しい高齢化等の深刻な過疎問題が発生しています。山間地域の過疎化によって、森を守ることが大変難しい状況になりつつあります。このことは、そこに住む人たちだけの問題ではありません。南砺の山間地域の役割や重要性、そして循環型社会について南砺市民みんなで考えましょう。

南砺市では、五箇山地域をはじめとする山間過疎地域の振興について、基本理念を定めるとともに、山間過疎地域の振興に関する施策の基本となる事項を定め、山間過疎地域の振興を総合的に推進することによって、本市の一体的な発展を図ることを目的に、平成25年3月に南砺市山間過疎地域振興条例を制定いたしました。

主催：南砺市

お問い合わせ：南砺市 政策推進課・エコビレッジ推進課／電話：0763-23-2002